

- 秋田県内の市町村では、森林経営管理制度の推進を担う専門知識を持った人材の不足が課題となっている。
- 市町村が実施する森林調査等の効率化及び省力化を図るため、航空レーザ計測を実施し、計測成果を各市町村へ提供している。

□ 事業内容

航空レーザ計測による森林資源情報のデジタル化

- ・ R 2 ～ R 9 年度を計画期間とし、事業に参画している県内 1 4 市町村を対象とした航空レーザ計測及び地形解析を実施（R 6 年度は北秋田市ほか 5 市町で実施）。
- ・ 計測成果品は参画市町村に提供し、各市町村における森林資源解析等に活用。

【事業費】 R 6 年度 1 5 4 , 0 3 5 千円
(全額譲与税)

【実績】 R 6 年度実施面積 $A = 4 4 1 . 1 0 \text{ km}^2$

□ 取組の背景

- ・ 森林経営管理制度の主体となる市町村では、林業の専門知識を持った人材が不足している。
- ・ 森林調査を担う林業労働者が減少、高齢化傾向。
- ・ 慢性的なマンパワー不足の中、森林調査を効率的に実施するため、航空レーザ計測により森林資源情報のデジタル化を図る。

□ 工夫・留意した点

- ・ より効率的な計測計画策定のため、参画市町村及び有識者との意見交換会を実施し、計画に反映。
- ・ 県が主体となり発注事務を一括して行うことで、広範囲で効率的な計測を実施。

□ 取組の効果

- ・ 当県民有林の約43%を本事業により計測（R 6 年度末現在）。
- ・ 提供した成果品は、各市町村における森林資源解析業務に活用されている。

【成果品の例】



(微地形表現図)



(路網状況図)

◇ 基礎データ

①令和6年度譲与額：161,364千円	②私有林人工林面積（※1）：176,572ha
③人口（※2）：959,502人	④林業就業者数（※2）：2,235人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2年国勢調査」より